

海釣り愛好者の継続要因に関する研究

中井 俊貴 (生涯スポーツ学科 野外スポーツコース)

指導教員 黒澤 毅

キーワード 海釣り, 魅力, 継続要因

1. 緒言

釣りは誰にもできる趣味であり, 近年スポーツというジャンルとして楽しまれるようになってきた. しかし, 釣り場環境の縮小や少子高齢化の影響で若者の釣り人口が減少傾向である. 筆者は海釣りを幼少期より行っており, 同世代の釣り人が減少しているのを防ぎたいと考えた.

そこで本研究は, 海釣り愛好者における海釣りの継続要因について, その魅力に着目して明らかにすることを目的とする.

2. 研究方法

研究Ⅰ: アンケート用紙の作成・実施

2016年8月にW県内にある防波堤で海釣りをしてきた釣り人30名を対象とし, 鈴木¹⁾の「釣りガールの考察」を参考に, 筆者が独自に海釣りに関するアンケートを作成し, 自由記述によるアンケートを実施した.

研究Ⅱ: 本アンケート用紙の作成・実施

予備調査により収集した言葉をKJ法を用いて分類・整理し, 筆者が独自に5要因22項目からなる海釣り愛好者の継続要因に関するアンケート用紙を作成した. 2016年10月, 11月にO府内およびW県内の防波堤で海釣りをしてきた海釣り愛好者92名を対象とした(以下, 釣り人とする).

3. 結果と考察

海釣りにおける釣りの魅力の影響を全体でみた結果, 釣り人にとって「楽しさ」「環境」「仲間」が釣りの魅力として影響力が大きいことが示された. 釣り人は四季に合わせた魚を狙って, 魚の引きを楽しんだり, 自然環境を肌で感じながら釣り仲間と共に釣りをしていると考えられる. 海釣りの魅力4要因が釣り人の継

続要因に及ぼす影響の一連の結果を図1に示した.

【年代別】では, 20代に「楽しさ」「環境」, 30代に「仲間」「釣り道具」, 50代に「楽しさ」, 60代以上に「環境」「仲間」, が釣りの魅力に高い影響力を示した. 20代, 30代の若者は, 友人と一緒にルアーフィッシングを行っている釣り人がほとんどだったことから仲間とルアーフィッシングを楽しんでいるのだと考えられる. 50代では, エサ釣りをしている釣り人が多かったことから体力の使わないエサ釣りを楽しんでいると考えられる. 60代以上では仲間と一緒に釣りをすることで釣りの魅力を感じていると考えられる.

【釣り歴別】では中級者に「楽しさ」「仲間」, 上級者に「仲間」が釣りの魅力に影響していた. 釣り歴が10年以上と長いことから, 長年にわたって共に釣りをしている釣り仲間と釣りを楽しんでいるのだと考えられる.

4. まとめ

1) 海釣り愛好者における海釣りの魅力は海釣りの魅力因子である「楽しさ」「環境」「仲間」において, 高い影響力を及ぼすことが明らかとなった.

2) 釣りの魅力の要因について, 20代, 30代では「ルアーフィッシング」に魅力を感じている釣り人, 50代では「エサ釣り」に魅力を感じている釣り人, 60代以上では「仲間」に魅力を感じていた.

3) 釣りの魅力の要因については釣り歴に関係なく, 「仲間」の影響が高かった.

引用参考文献

1) 鈴木一寛 (2013): 釣りガールの考察, 日本国際観光学会論文集, 第20号, p.105-109

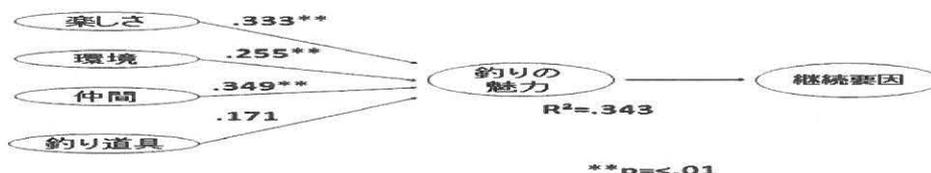


図1 海釣りの魅力4要因が釣り人の継続要因に及ぼす影響